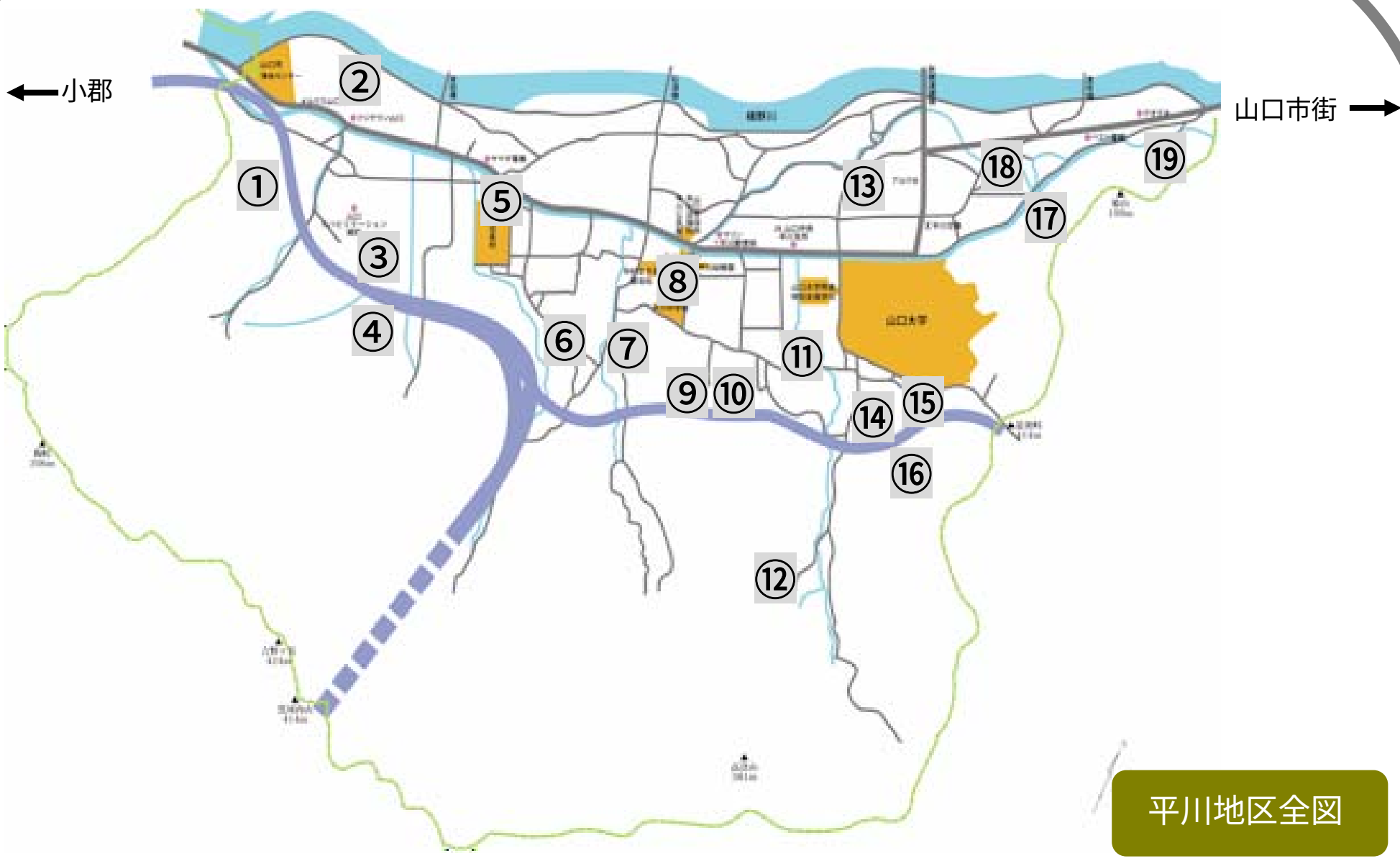
平川
史跡の散歩道

2007年度常設展示

平川史跡の散歩道

平川地区は、古くは石器時代から人が居住しており、長い歴史を持った地域です。普段何気なく通り過ぎている小さな石碑や寺社にも、様々な歴史が刻まれています。知っているようで知らない、平川の歴史を再発見してみませんか。
常設展示では、神社や寺、石碑など、写真を中心に展示しています。ここでは、その中のいくつかをご紹介します。



平川地区全図

①五輪塔
②徳證寺
③平野日吉神社
④臨海院
⑤広瀬橋　石碑
⑥西向寺
⑦広沢寺
⑧忠魂碑
⑨恒富八幡宮
⑩高倉荒神社
⑪荒神様
⑫平川の大杉
⑬古宮跡
⑭平清水八幡宮
⑮吉田のノハナショウブ自生地
⑯万珠･千珠
⑰平井日吉神社
⑱寺内正毅　誕生地
⑲姫山

平川地区の成立

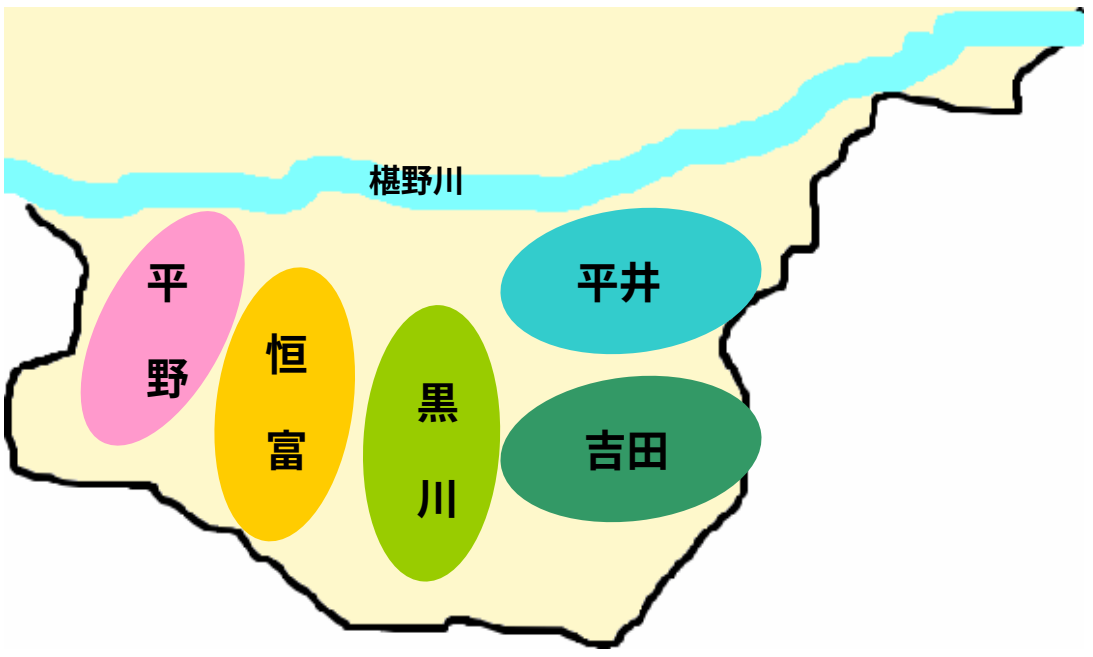
姫山

山口盆地に流れる椹野川と、姫山に続く一連の山並みの間にひろがる沃野が平川地区です。

平川には、古墳や横穴などが多く発見されており、紀元前の石器時代から集落が形成されていたことが明らかになっています。そのため、平川地区の歴史は大変古く、古人の生活の跡を至る所で発見できます。

村々が統合して平川に

平井・吉田・恒富・平野
↓
平井+吉田=平井村
恒富+平野+黒川=黒川村
↓
㊥井+黒㊦=平川村（明治２２年）



昭和１９年、大東亜戦争完遂と山口県中枢都市建設のため、椹野川流域諸村の大山口市統合による村政６０年余年の幕を閉じ、山口市を構成する一地域となりました。

平川の保存樹

イチョウ

青々と茂っているイチョウ。秋の落葉の季節を思わず想像してしまう。

ちなみに山口市の木はイチョウ。

←タブノキ

タブノキはクスノキ科の常緑高木で本州から九州の暖地の沿海地に多い。ここのタブノキの根元にはなぜか石垣。

ヤブツバキ→

臨海院にあるヤブツバキはその大きさにもかかわらず、ひっそりと立っている印象。花を咲かせるのは、寒さ厳しい冬。

制作：山口大学図書館